

またみえてのぞく、

〔延喜式七 踐 大嘗祭〕凡大嘗殿所須〇中 簾十六張、預令掃部寮造備、

〔大内裏圖考證十 附錄〕春日權現驗記繪、春日社錦額簾、

簾ノ竹緑青染ノウヘ、アミ糸二筋アミ、ヘリノ間ニ二、赤白紫白赤白紫白赤、如此村濃也、

イヅレモ同ジ、其テイ赤白紫、合テ八ヶ所也、赤白紫白赤、如此、白キハ少キ也、ヘリ右ノ端ニツ、中

ツ也、并縁五色ニテ、窠文アリ、菊ニ似赤紫



如此、地文ノ上ニ金泥ニテ窠文ヲカケリ、窠ノ體普通ノミ

スノ如シ、モカウ、窠白ニ蝶、又普通ノ如キ也、ミスノモカウ、并ニミスノ上ノ方ニ鏡ヲカケタリ、佛像

ヲ金ニテカケタリ、金銅ノ蝶形アルベキ、

春日若宮神主祐定記曰、嘉禎二年四季云、

御簾肆間高各五尺五寸、弘各五尺八寸、縁五、各面紺地、錦縁額、裏淺黃紺平絹、金銅大文二枚、蝶形六枚、帽額付之、

金銅小文十六枚、平文四十六枚、脰金四枚、縁付之、在鉤二枚、栗形二口、丸緒二筋、志部總懸緒四筋等、

御簾一間高五尺五寸、弘五尺八寸、縁五、面紺地、縁帽額、裏淺黃紺平絹、金銅大文二枚、蝶形六枚、帽額付之、金銅小

文十六枚、半文四十六枚、脰金四枚、縁付之、在鉤二枚、栗形二口、丸緒三筋、志部總懸緒三筋等、

丸緒上赤、中白、下紫、志部中白、赤、上紫、下

〔八雲御抄三 雜物〕簾 たまだれ いすだれ みす あしすだれなにはのほかは こす 玄の

すだれ いすだれ 惠慶歌 こすのすだれ たまだれのあみめのまよりふく風後撰 又た

まだれのこすのまとをしと云、万也、小簾回通りけり、見すのひまより通こ、ろ也、

〔和漢三才圖會三十二 家飾具〕簾〇中 按簾。有數品。大抵籤竹以編成、爲屏障也、又爲暑屏、出於伏見、一種、以細莖蘆編成者、出於豫州、呼曰

簾種類